

銀行名	佐賀銀行
タイトル	地域密着型金融の取組み推進 ～お取引先現場での実地研修等による行員の事業性評価力養成～
取組み内容	当行は、コンサルティング機能の発揮を目的として、行員向けに定期的にお取引先の協力をいただき事業現場における実地研修等を行っています。 そのひとつとして、お取引先の工場等の事業現場を見学させていただく行員向け休日セミナーを継続して取組んでいます。このセミナーでは、決算書等の財務資料のみで企業を理解するのではなく、実際に現場で商品の製造工程を拝見したり、お取引先の社員様へ質問をさせていただくことで、企業の様々な工夫や技術力、業界動向などを踏まえた将来性に目を向けることで、行員の目利き力向上を目指しています。 このセミナーは平成 23 年 1 月より開始以降半年ごとに実施しており、現在では 11 回（11 社様）の開催に及んでいます。1 回あたりの参加人数は 30～40 名程度と限定的にはなりますが、日頃接していない製造部門等の企業担当者の方から説明を受けることなどを通して、お取引先に対する理解を深める機会となっています。 また、お取引先の協力の下で、「企業コンサルティング研修」を毎年 1 回の頻度で実施しています。この研修では行員が対象企業の経営状況や経営環境等を様々に調査・分析することで、企業実態を把握する力や経営課題に対する解決策の提案能力を養成しています。具体的には、期間を 5 ヶ月程度設けて、対象先企業の店舗等現場の視察、顧客動線調査、顧客アンケート調査、市場環境調査、従業員意識調査、組織運営態勢並びに財務状況等調査を行員がチームを組んで実施し、最終的に「事業計画書」の形式でお取引先へ提案するという実技形式の研修としています。この研修は、昭和 56 年度から平成 27 年度まで累計 34 回を重ね、当行では歴史ある研修のひとつとなっております。 以上のような研修については、お取引先の事業性を適切に評価できる人材育成のために今後も継続していく予定です。

銀行名	佐賀銀行
タイトル	地域における成長産業への支援（6次産業化支援）
取組み内容	6次産業化支援の取組みとして、平成25年11月1日(株)農林漁業成長産業化支援機構（以下、機構）の出資を活用して「6次産業化応援ファンド第1号」を設立、付加価値の高い「農林漁業（1次産業）」の資源を、2次・3次産業と連携させ事業化を促進し、地域経済の活性化、地域再生、雇用拡大に寄与することを目的に、行政や6次化サポートセンター、機構などの専門部署と連携しながら同ファンドの活用を中心に取組んでいます。 機構と地域金融機関等が設立した6次産業化ファンドにおいて、平成28年4月19日に県内で初めてとなる投資を決定し、（平成28年6月10日現在、全国94件の実績）同年6月30日に実行しました。現在、その他に具体的な案件もあり（4件）、今年度の出資に向けて弊行関連会社と、農林漁業成長産業化支援機構と連携して取り組んでいます。

銀行名	佐賀銀行
タイトル	投資育成株式会社を活用した事業承継事例
取組み内容	当行取引メイン先 K 社は先代社長（会長）のご子息に承継者がいなかったため、従業員に承継しました。その際新社長は会長の株式の過半数を配当還元方式および原則的評価方式にて買取を行いました。 今回会長が勇退される際に残りの株式の買い取り問題が発生したことと、将来透明性の高い会社にしたいとのニーズがあり、投資育成株式会社を紹介しました。 投資育成株式会社の出資による株価引下げ、および先代社長保有株式の買取によって、新社長は新たな買取資金の負担を受けずに済んだことと、新たに入社されたご子息に対する後継者教育につきましても、投資育成株式会社の主催するセミナー等に参加されたことによって当行の提案に満足されました。

銀行名	佐賀銀行
タイトル	医療機関（病院）病床機能転換の支援取組み事例
取組み内容	【動機（経緯）】 ・一般 60 床（15 対 1）、医療療養 60 床（基本料 2）のケアミックス病院。 ・同病院経営者より、これまで安定していた病床稼働率が低下基調（これまで多かった基幹病院 B 医療センターからの患者受入減）にあり体制面の見直しが必要と考え、今後の医療動向を踏まえた当病院の方向性をアドバイスしてほしいとの依頼を受けました。 【取組み内容】 ・方向性検討にあたり、下記事項の調査を行いました。 ○病院周辺（医療圏）人口動態、今後の推移 ○近隣急性期病院（患者紹介先）の状況 ○近隣競合先病院（慢性期病院）の状況・動向 ・上記調査事項より基幹病院 B 医療センターからの患者転院減少要因のひとつとして在宅復帰機能強化加算未取得がある可能性を示唆し、他近隣病院で在宅復帰機能強化加算算定病院を調べたところ、公表ベースで近隣に 3 病院が取得運営していました。 ・他病院動向を踏まえ現状病床機能維持での経営では地域包括ケアシステムのなかでの連携・機能充実は厳しいものと判断し、下記内容での病床転換策を提案しました。 ①医療療養 2 ⇒ 医療療養 1 へ ②医療療養病棟の在宅復帰機能強化加算の算定 ③一般病床 15 対 1 ⇒ 回りハ・地域包括ケア病棟への転換模索 ・最終的に現状運営体制で即時取組可能であった①を採用頂く。 ・医療療養 2⇒1 への転換において、必要事項となる「既往入院患者医療区分の状況」、「必要人員体制の補充人員の検証等支援」も行う。 【取組みの効果】 ・結果として従来入院患者での医療区分要件はクリア、補充人員も 2 名程度で賄えることが確認できたことより、半年内での転換が可能となり早期転換に至りました。 ・また、今回見送りとなった項目（②③）の将来取組みを見据え、周辺医療介護事業者（近隣急性期病院をはじめクリニック・介護事業者）についても院長が接点・関係構築を行うこととなり、連携意識の向上に寄与できました。それにより病床稼働率も転換前比較で 10%程度改善しました。

銀行名	佐賀銀行	
タイトル	社会貢献への取組み	
取組み内容	【取組内容】 1. 文化支援活動	
	文化財団新人賞の贈呈	文化・芸術に関する人材育成の一環として、佐賀県在住もしくは佐賀県出身の将来性豊かな若い芸術・創作活動家に賞および副賞を贈その活動を支援しています。この賞が若い芸術家の方々にとって大きな励みとなり、その活動が活性化されることで、ますます地域文化が発展していくことを願っています。
	ニューイヤークンサート	九州交響楽団の華麗なオーケストラの調べで新しい年を迎えていただこうと、平成4年1月より毎年開催しているコンサートです。多くの皆さまにご来場いただいております。
	ウェンズデイコンサート	音楽を気軽に楽しんでいただくために、平成4年6月から毎月第2・3水曜日の正午に本店ロビーを利用したミニコンサートを開催しています。
	2. 環境問題への取組推進活動	
	森林保護活動 ・エコ定期預金の販売	本定期預金は、お客さまからお預け入れいただいた定期預金総額の0.025%相当額を当行が負担し、森林保護活動に資する基金等へ寄与するものです。平成27年度は、「公益財団法人さが緑の基金」に120万円、「公益財団法人福岡県水源の森基金」に177万円、「公益社団法人長崎県緑化推進協会」に15万円の寄付をしました。
	河川清掃活動 ・クリーン河童作戦	平成9年8月より毎年河川清掃を実施しています。「クリーン河童作戦」と名づけて、約100名が参加し、きれいな川のある環境を作っていきたいと取り組んでいます。
	3. 金融経済教育の取組活動	
	「エコノミクス甲子園」佐賀大会の開催	平成27年12月に「エコノミクス甲子園」佐賀大会を開催しました。本大会は高校生の金融および経済に関する知力の普及を目的としたもので、楽しみながら金融経済を学んでもらうクイズ形式の大会です。